

2025年度 交流助成 成果報告（海外派遣）

2025年 4月 29日

所属：先進理工学研究科

氏名：沖田匡



会議等名称 ISEV2025

開催地 ウィーン

期 日 4/22～4/28

1) 会議（研究会）の概要

細胞外分泌小胞(EV、エクソソームや他の種類の小胞を含む)の研究に関与する研究者や科学者のための主要な専門学会。

2) 会議（研究会）で発表した研究テーマとその討論内容

研究テーマ：Development of an ultrasensitive method for measuring PD-L1 on surface of sEVs

討論内容：がんの進行に関与するタンパク質である PD-L1 について、その極微量な存在量を検出するため、従来法では困難であった課題に対し、新たな検出手法を導入することで解決を図ることを目的とする。

3) 出席した成果（ご自身の研究のみならず、他の研究者との交流を通じて得たものがあれば具体的に報告して下さい。）

出席を通じて、自身の研究理解が一層深まったと考える。発表では、検出感度向上のアプローチに関して多くの質問が寄せられ、特に定量性の向上について有益なフィードバックを得た。具体的には、現在採用しているポリマー沈殿法による EV（細胞外小胞）の回収について、他の研究者との意見交換を通じて、ポリマー沈殿法では夾雑物の混入が多くなる可能性があることを知った。その結果、より高純度な回収を目指す方法とし

て、カラムを用いたサイズ排除クロマトグラフィー (SEC) 法の導入が有効であることを学んだ。今後はサイズ排除クロマトグラフィー法を自研究に導入し、EV サンプルの純度向上を図る予定である。また、研究発表を通じて、自身が用いた検出法に関連する文献に興味を持ってもらう機会も得られ、今後の研究発展に大きく寄与する経験となった。

4) その他



ISEV2025 発表当日のポスター前の証明写真



ISEV2025 発表当日のポスター発表に関する質問への回答をしているときの写真

※最後に現地での交流の様子を撮った写真(2～3枚程度)がありましたら、簡単な説明を添えて、挿入してください。